

各位

2024年2月8日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本  
TEL：03-5325-8547

### 旅行取扱状況の概観（令和5年12月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比76.4%、学生団体は同99.6%、団体旅行合計では同91.3%となった。企画旅行については2018年度比63.8%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比69.9%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比87.5%、学生団体は同68.7%、団体旅行合計では同77.2%となった。企画旅行については2018年度比37.8%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比46.5%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比98.2%となった。

以上の結果、ホールディングス主要会社の12月の総取扱額は、2018年度比65.7%と2018年度を下回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 国内旅行

国内団体については、視察・研修等の取扱額が増加したものの、職場旅行・観光については取扱額が減少し2018年度には及ばず、2018年度比76.4%となった。学生団体は、修学旅行では、取扱件数が増加し、2018年度比104.0%となった。修学旅行以外の学生団体においては、主にクラブ合宿や教職員旅行での取扱件数が減少し、2018年度比72.5%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比91.3%となった。

国内企画旅行については、2018年度比63.8%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、ウェブ販売が好調に推移しているものの2018年度比45.6%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、首都圏発のJR利用旅行やひとり旅、テーマ型商品が好調に推移したものの、2018年度比75.9%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比69.9%となった。

##### 2. 海外旅行

海外団体では、展示・博覧会や国際会議、スポーツイベントの大型案件が貢献したものの、職場旅行、企業系コンベンションの取扱件数が減少し、2018年度比87.5%となった。学生団体は、修学旅行の取扱件数が2018年度には及ばず、2018年度比68.7%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比77.2%となった。

海外企画旅行については、2018年度比37.8%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、ウェブ販売と店頭販売ともに苦戦し、クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパ方面やアジア方面が好調に推移したものの、2018年度までの回復には至らなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比46.5%となった。

##### 3. 訪日旅行

訪日団体では、大型のスポーツイベントや国際会議などの取扱いがあった。訪日個人では、10月に約1.7倍の値上げとなったJAPAN RAIL PASSの取扱額は伸び悩んだものの、クリスマスから年末にかけて訪日個人旅行者向けオンラインサイトの需要

が増加となった。総取扱額としては、2018年度比98.2%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから 2018年度との比較にて表記。